



福祉まつり

10月1日にふれあい福祉センターで、福祉まつりが開催されました。

社会福祉施設入居者による作品の展示や福祉機器の体験コーナー、模擬店などが設けられ、多くの人でにぎわいました。

なかでも、女優の真屋順子さんと俳優でご主人の高津住男さんの講演会には、立ち見が出るほどの盛況ぶりで、「ありのまま、そのままだに生きる」と題したお話に、来場者のみなさんは熱心に耳を傾けていました。



～家庭の絆づくり～ 「ブックスタート」が始まりました

「ブックスタート」は、赤ちゃんに絵本を読み聞かせることによって、肌のぬくもりを感じながら、言葉を通わすかけがえのないひとときを持つことを応援する運動です。

毎月実施される乳児健康診査の会場で、健診を受けた赤ちゃんとその保護者の方を対象に、絵本や子育てに関するアドバイス集を差しあげています。

図書館や児童館の職員が、赤ちゃんと保護者の方に、絵本を読み聞かせると、赤ちゃんの目は絵本にくぎづけになり、その表情はより豊かになっていきます。

赤ちゃんの言葉と心を育むためには、抱っここのあたたかさの中で、やさしく語りかけてもらう時間が大切です。赤ちゃんのご家族の楽しいひとときに、絵本などをご活用ください。





自転車免許を取りました！

町内の3小学校で、4～6年生を対象に自転車安全運転教室が行われました。

上尾警察署や町、交通指導員、交通安全母の会から構成される「埼玉県子ども自転車運転免許制度運営委員会」の主催によるこの教室は、交通ルールに従った自転車の安全な運転方法を学び、学科試験と実技試験の両方に合格すると、自転車運転免許が交付されるというものです。免許を持つことによって、児童たちの、交通安全に対する意識を高め、自転車事故の減少を図ることを目的としています。

10月12日にお邪魔した小針小学校では、免許の取得に向けて、実技試験の真っ最中でした。

参加した児童からは、「指導員の人たちがやさしく教えてくれたのでわかりやすかった」、「自転車に乗ることが多いので、これから気をつけて乗ろうと思った」という声が聞かれました。



守ろう交通ルール